

第18回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年9月25日(火) 午前11時00分～11時54分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 6名

■出席委員(敬称略)

茅原 剛 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英司 副会長(栃木市商工会議所事務局長 管理課長)

高崎 尚之 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

池田 正 委員(栃木警察署長)

石田 栄 委員(栃木市消防本部消防長)

堀江 貴浩 委員(栃木青年会議所理事長)

■放送事業者側出席者

高田 光浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長)

木村 嘉孝 (コンテンツ部課長)

清水 研児 (コンテンツ部 FMグループ係長)

世取 山大輔 (コンテンツ部 FMグループ)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 議事

①8月26日(日)20時～21時台(抜粋)

雷への注意喚起と停電による割り込み放送

(事務局) 夕方からの雷雨があったため、大雨と雷への注意喚起を放送した。

つづいて市内で停電が起きたことから、21時の生放送終了後に音楽番組に割り込み、停電の状況と気象情報を生放送で入れた。その後

まもなく雨は収まり、停電は復旧している。

- (委員) その時その時でないといけないことなので、積極的に実施して欲しい。停電時はテレビもつかないの安心する。
- (委員) 雷への注意喚起は、前もって心構えができるのでリスナーには良かった。当日は大平で一時数百件が停電したようで、自分でも心の準備ができた。「川沿いにお住まいの方は警戒を」と言っていたが、夜間で雨が降ると、滑りやすく転んでケガをするなどの危険があるため、「川に近付かないように」との注意喚起を入れて欲しかった。また落雷による火災もあるが、エアコン・テレビ・冷蔵庫・電話のコンセントを抜くという注意喚起も入れると良い。本来ならばブレーカーを落とすと良い。
- (委員) 「市民のためのラジオ」という事で、正しい判断だった。何かあったらラジオをつけようと思ってもらえる。ただ、緊迫感が感じられなかったので、話し方やBGMを変えるなどしても良かった。
- (委員) この日大平町で強風があり、25軒以上の農家で80棟近いビニールハウスが飛ばされる被害があった。警報等は出なくても「実はこんなことがあった」と、後日注意喚起すると良い。
- (事務局) パーソナリティへの指導不足と反省している。BGMはその場にあったものを準備したい。台風が過ぎ去ったあとの被害の状況は放送しているが、それ以外の時でも被害が予想される場合は事実確認をして放送していきたい。「川に近付かないように」や「ブレーカーを落とす」などの注意喚起は、関係する皆様の話を聞きながら読み上げる内容を検討したい。

②9月8日(土) 16時台放送(約20分)

サテライト放送 「第5回蔵の街花火大会」

- (事務局) 「蔵の街花火大会」が行われた永野川緑地公園に放送ブース(簡易型スタジオ)を設置して放送した。大会実行委員長・横山実代さんを招いてお話を聞いた。人通りの多いところにスタジオを置いて、放送の認知度アップを狙った。
- (委員) FMくらら857を知っていただくにはいい取り組みだ。打ち上げ現場で放送が流れれば認知度も上がるし、盛り上がったのではないかな。
- (委員) ゲストの横山さんとパーソナリティのやり取りが、雑音も少なく聞きやすかった。
- (委員) 出張放送はPRにもなるし、市民も身近に感じられる取り組みでよかったと思う。

- (委員) 市民主体のイベントのため広報で苦労していると思う。今後、市民主体のイベントも増えていくので、取り上げてもらえると地域の活性化につながる。
- (委員) 駐車場やシャトルバスの話など、知りたい情報がきちんと伝えられていた。お祭りの会場という臨場感をもっと出せるとよかった。
- (事務局) 来場者の目に必ず留まる場所にスタジオを設置したが、打ち上げ会場と少し離れているため、お祭りの雰囲気・花火の音などが伝わりにくい場所だったというのが反省点。今後は音の環境も含めて場所を選定したい。

③その他

- (委員) FM くらら 857 のカードがどのくらい使われたのか、データはあるのか？件数が分かる方法があるのであれば教えて欲しい。
- (事務局) 使用回数について、ご協賛いただいている加盟店様それぞれで集計しているところもあるが、全てを集めることはなかなか難しい。今後毎月でなくとも年に 1 回等、統計が取れるかどうか検討したい。一方で、モバイルカードのアクセス数は統計を取り、公表している。

6. 審議機関の答申又は概要の公表

FM くらら 857 ホームページに掲載 (平成 30 年 10 月掲載)

■次回の日程開催

平成 30 年 11 月 27 日 (火) 午前 11 時予定